

功勞調書

(職名) 川越町教育委員会委員

(名前) 寺本 一彦

一、略歴

平成十四年十月一日、川越町教育委員会委員に任命。(平成十八年九月三十日 退任)
平成十八年十月一日、川越町教育委員会委員長に任命。(平成二十二年九月三十日 退任)
平成二十二年十月一日、川越町教育委員会委員長に任命。(平成二十四年九月三十日 退任)
平成二十四年十月一日 川越町教育委員会委員に任命。現在に至る。

二、功勞の内容

- (一) 平成十四年より、十一年以上にわたって教育委員会委員として教育行政の発展に尽力している。そのうちの六年間は、教育委員会委員長を務めるとともに、平成二十三年度に、三重県市町教育委員会連絡協議会副会長も務めた。
- (二) 学校訪問等で子ども達の様子をつぶさに見て、子ども達に愛情をもって接している。また、学校を応援する立場から、主に「学習環境の整備と児童生徒の安全確保」「きめ細やかな教育支援」「授業改善と教職員の研修」の分野で川越町の教育の充実に尽力している。
- (三) 「学習環境の整備と児童生徒の安全確保」については、中学校の全教室及び小学校の図書室、コンピューター室、音楽室等にエアコンを設置するとともに、小学校の普通教室に扇風機を設置した。また、ICT環境の整備、防犯カメラの設置、不審者情報をメールで配信するシステムの導入等にも尽力した。
- (四) 「きめ細やかな教育支援」については、特別支援学級への生活支援員、通常学級への町費の非常勤講師、学習支援員の配置に尽力した。また、特別支援コーディネーターとしての臨床心理士を町費で雇用するとともに、日本語指導員の配置も実現した。なお、幼稚園・小中学校の図書室管理業務を民間業者へ委託し、蔵書管理・検索、図書の出返却をシステム化するなど、読書環境の充実・整備にも貢献した。
- (五) 「授業改善と教職員研修の充実」については、学校訪問時の「学びあい」等授業改善の提起、教職員の自主的な研修を財政的に支援する「教育研究員」制度の創設、キャリア教育の推進、川越高校と川越中学校の交流等にも尽力した。

功勞調書

(職名) 熊野市教育委員会委員

(名前) 新谷 利雄

一、略歴

昭和四二年一月、松本民芸家具入社。昭和五八年二月、松本民芸家具退社。昭和五八年三月、家具の製造販売(自営)。
平成八年三月二日、旧紀和町教育委員会委員に任命。
平成一五年六月二五日、旧紀和町教育委員会委員長に任命。(平成一七年一〇月二日 退任)
平成一七年一二月二三日、熊野市教育委員会委員に任命。現在に至る。

二、功勞の内容

- (一) 平成八年三月二日から平成一七年一〇月二日まで九年七ヶ月の間、旧紀和町教育委員会委員として、また、平成一五年六月二五日から平成一七年一〇月二日まででは教育委員会委員長として、卓越した識見と確固たる教育信念をもって、その才能を遺憾なく発揮し、旧紀和町における学校教育の振興、社会教育の振興、教育文化の向上に多大な貢献をした。
- (二) 平成一〇年に竣工した入鹿中学校改築事業において、木材を利用した校舎の先駆けとして、自身の木に対する豊富な知識をもって教育長を支え、その建設に尽力し、へき地における教育環境の充実に努めた。
- (三) 旧紀和町において、週五日制の導入時に、休日となった土曜日の過ごし方として、高齢者と子供たちとの交流など、青少年の健全育成のための活動も積極的に行い、教育関係者は言うまでもなく地域住民からも高い評価と信頼を得た。
- (四) 市町村合併後、平成一七年一二月二三日、熊野市教育委員会委員に任命された。教育委員会において、自身の経験や知識を踏まえ、教育行政に対し積極的な発言を行うことにより、熊野市の教育充実に貢献してきている。温厚誠実な性格で、責任感も強い。